

平成21年11月11日

横浜市教育委員会
教育長 田村 幸久 様

「大池小・ひかりが丘小」小規模校再編検討委員会
委員長 中野 保弘

大池小学校・ひかりが丘小学校の小規模校の再編に関する意見書

はじめに

当検討委員会は、横浜市教育委員会が策定した「横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針」に基づき、大池小学校・ひかりが丘小学校の小規模校の再編について検討するため、本年4月に設置されました。

平成21年3月30日に検討委員会準備会を立ち上げ、5月以降5回にわたり小規模校再編に係る諸課題を検討し、これを取りまとめましたので、次により意見を申し述べます。

1 小規模校の再編計画案

(1) 再編に当たっての考え方

児童の教育環境の維持・向上と効果的かつ効率的な学校経営を行うため、小規模校化しているひかりが丘小学校と今後小規模校化が見込まれる大池小学校の2校を再編統合すべきと考えます。

ア 小学校の通学区域

現在の大池小学校、ひかりが丘小学校の通学区域を合わせた学区とします。

イ 中学校の通学区域

現在指定されている上白根中学校について、統合後においても現状のままとすることが望ましいと考えます。

(2) 再編の実施方法

ア 統合後に使用する学校施設は、現在の大池小学校が適当と考えます。

イ 再編統合の時期は、統合に向けての十分な準備期間を確保する観点から、平成23年4月が適当と考えます。

2 統合校の学校名

統合校の名称は、「四季の森小学校」とすることが適当と考えます。

3 通学安全要望

昨今の社会情勢から、防犯・不審者対策等、多面的な視点で児童生徒の通学安全を確保する必要があると考えます。

具体的には、今後、両校の学校関係者、保護者、地域が中心となって、

- 通学路及び通学区域の危険箇所の点検
- 通学路案の検討・設定
- 通学路の安全マップの作成
- 通学安全パトロールの強化
- 見守り隊の拡充

などに取り組んでいきます。

なお、小規模校の再編統合という事情も考慮し、必要な改善及び支援については、教育委員会並びに区役所など、関係機関は最大限の努力をお願いします。

4 新校の特色づくりについて

両校の教育関係者は、地域の期待やニーズも踏まえて、教育内容の充実に取り組むとともに、教育委員会も必要な支援を行うよう配慮をお願いします。

本検討委員会としては、

- (1) 「人・もの・こととのかかわり合いの中で心豊かにたくましく生きる子」の育成
(あいさつができる子ども、学校が大好きな子ども、地域を愛する子ども、議論ができる子ども、物を大切にできる子ども、他人の痛みが分かる子ども、あきらめず努力する子ども)

- ① 学習と生活の基礎基本の定着（学力の向上、基本的な生活習慣を身につける）
- ② 小中9年間の連続した学びの充実（小中のスムーズな接続、幼保との連携も）
- ③ 小中9年間の連続した児童生徒指導及び特別支援教育の充実
- ④ 豊かな心の育成
 - ・ 読書活動の推進
 - ・ 花と緑の学びの環境の充実
 - ・ コミュニケーション能力（言語力、表現力、人間関係作り）の育成

- ⑤ 魅力ある学校行事の充実

- ⑥ 地域とともに歩む学校

- (2) 小中連携型の学校運営協議会の設置により、地域の子どもたちを、学校・家庭・地域で責任を持って育て見守り続ける学校運営など、新校にふさわしい特色ある学校づくりをお願いします。

5 その他小規模校再編に当たっての要望

- (1) 統合までの期間においては、両校で「新しい学校を創造する」という考え方にに基づき、交流事業や統合校の教育目標の設定等を進めていただき、統合校への円滑な移行を促進するようお願いします。
- (2) 新校の特色づくりに基づいた教育環境の確保のため、必要な施設整備について、最大限の努力をお願いします。
- (3) 統合校の円滑な運営を図るとともに環境変化に児童が順応できるよう、統合校の教職員は、できるだけ両校の教職員を配置するよう配慮をお願いします。
- (4) 新たな「四季の森小学校」には、これまで2校が築いた歴史を尊重し、できる限り関係資料等の保存・記録をお願いします。

むすびに

横浜市は「『まち』とともに歩む学校づくり」をすすめています。大池小・ひかりが丘小地区においても、両校の統合を契機に、保護者や地域住民による見守り活動や様々な学習活動への参画など、学校との連携・協力体制をより一層推進していきたいと考えています。

横浜市においても、地域住民との協働を推進し、当地区がより良いまちとなるよう各種事業を推進されるよう要望します。